

## 1. 普及活動

### 〈特別展・特設展示〉

- ・ 「毛利輝元と萩開府」（2004、萩博物館開館記念・萩開府400年記念）
- ・ 「大萩市の文化財」（2005、新・萩市誕生記念）
- ・ 「『宝島』の作者スティーヴンスンがつづる吉田松陰伝」（2005、萩市・下田市姉妹都市締結30周年記念）
- ・ 「室町文化の精華—大本山相国寺と金閣・銀閣の名宝—」（2006）
- ・ 「君と竜宮城へ～知られざる深海への旅～」（2007）
- ・ 「風雲！昆虫城～カブトムシたちの戦記～」（2008）
- ・ 「明治維新の光と影」（2008、明治維新140年記念特別展）
- ・ 「マンタの海流大冒険—まぼろしの海神（ポセイドン）王国をめざして—」（2009）
- ・ 「伊藤博文とその時代」（2009）
- ・ 「2010年UMAとの遭遇—知られざるミステリーアニマルの世界—」（2010）
- ・ 「伝説のクジラキングを追い！—ピノキオのクジラ探訪記—」（2011）
- ・ 「日本の近代を拓いた萩の産業人脈—藤田伝三郎とその時代—」（2011、藤田伝三郎翁生誕170年記念）
- ・ 「楫取素彦と幕末・明治の群像」（2012、没後100年記念）
- ・ 「藤田美術館の名宝—大茶人・藤田伝三郎の夢—」（2012、藤田伝三郎翁没後100年記念）
- ・ 「山浦清麿—萩に招かれた幕末の刀匠～」（2013、生誕200年記念）
- ・ 「最恐！危険生物アドベンチャー—海と山のアブナイ生きものたち—」（2012）
- ・ 「トレジャーアニマル探究記～海と山に珍獣・希少生物を求めて～」（2013）
- ・ 「山田顕義と近代日本」（2014、生誕170年記念・明治維新150年プレ展示）
- ・ 「最強昆虫列伝～カブトムシ vs なぞの昆虫戦士たち～」（2014）
- ・ 「攘夷から倒幕へ、萩藩苦難の道～描かれた幕末の萩藩～」（2014、萩博物館開館10周年・明治維新150年プレ展示）
- ・ 「海を拓いた萩の人々～日本漁業近代化の先駆け～」（2014）
- ・ 「長州男児愛の手紙」（2015）
- ・ 「べっぴん！美形いきもの帳」（2015）
- ・ 特設展示「兄松陰と妹ふみ」（2014～2016）

**（以上 24回開催）**

### 〈企画展〉

- ・ 「明治維新をささえた萩の人びと」（2004、田中助一氏収集資料受贈記念）
- ・ 「萩の花～椿・サザンカ・梅・桜～」（2004）

- ・ 「萩博物館 収蔵品展—お初にお目にかかります—」 (2005)
- ・ 「発掘された城下町」 (2005)
- ・ 「幕末長州藩の科学技術—大砲づくりに挑んだ男たち—」 (2006)
- ・ 「晋作と龍馬」 (2006)
- ・ 幕末維新の群像①「長州ファイブ展—密航留学生と明治維新—」 (2006)
- ・ 幕末維新の群像②「幕末志士たちの手紙展—山根正次コレクション—」 (2006)
- ・ 「七人の宰相」 (2006)
- ・ 「井上剣花坊と川柳」 (2006)
- ・ 「長州男児の肝っ玉—松門の四天王と桂小五郎—」 (2007、松下村塾開塾 150 年記念)
- ・ 「萩藩雲谷派の世界—雪舟を受け継いだ絵師たち—」 (2007)
- ・ 「旅する民俗学者 宮本常一のまなざしを追って・萩」 (2007)
- ・ 「萩・夏みかん物語」 (2008)
- ・ 「明治維新と萩」 (2008、明治維新 140 年展)
- ・ 「初公開！萩博物館の『宝』」 (2008)
- ・ 「至誠の人 吉田松陰」 (2009、吉田松陰没後 150 年記念)
- ・ 「—タイムスリップ—城下町萩のひみつ」 (2009)
- ・ 「初公開！萩博物館の『宝』 2010」 (2009)
- ・ 「萩の近代化産業遺産—世界遺産をめざして—」 (2010)
- ・ 「討幕エネルギーの系譜」 (2010)
- ・ 「なつかしい日本のふるさと・萩—1930 年代の映像・絵画から—」 (2010)
- ・ 「萩・北浦のクジラ文化—西日本最大捕鯨漁場の軌跡—」 (2011)
- ・ 「幕末明治の人物と風景—藩都萩に眠る古写真から—」 (2011)
- ・ 『「志士」と「元勳」の書』 (2012)
- ・ 「コマーシャル 100 年 in 萩—城下町近代化のあゆみ—」 (2012)
- ・ 「幕末明治の洋行者たち～藩都萩に眠る古写真からⅡ～」 (2013、長州ファイブ渡航 150 年記念)
- ・ 「日本南画界の重鎮・松林桂月」 (2013、没後 50 年記念)
- ・ 「ふるさとの島・ふるさとの山～一枚の写真から～」 (2013)
- ・ 「明治日本の産業革命遺産と萩」 (2015、世界遺産登録速報展)
- ・ 「城下町・萩のひみつ ～迷宮へのいざない～」 (2015)

(以上 31 回開催)

#### 〈市民参加展示〉

- ・ 「川島地区の天神祭り」 (2004)
- ・ 「萩のエエトコ見つけ隊～夏みかんの巻～」 (2005)
- ・ 「萩の住吉祭り～風流山車～」 (2005)
- ・ 「親子で触れる昭和の暮らし」 (2005)
- ・ 「萩の天神祭り～唐樋御神幣～」 (2005)

- ・ 「江戸時代の萩 見つけ隊～土堀・石垣の巻～」(2005)
- ・ 「萩の海 新発見・再発見 2004」(2005)
- ・ 「知ってる？萩の海のこと 2005」(2005-2006)
- ・ 「親子で触れる昭和の暮らしⅡ」(2006)
- ・ 「はしれ機関車！はしれ船！」(2006)
- ・ 「萩の凧」(2006)
- ・ 「魅せます！萩の海」(2007)

(以上 12 回開催)

### 〈テーマ展示〉

2008

- ・ 「竜宮の使いが語る博のひみつ」

2010

- ・ 「長嶺武四郎彫刻展」
- ・ 「日本の鉄道の父・井上勝」(没後 100 年)
- ・ 「博物館秘蔵！萩焼名品展」
- ・ 「高杉晋作ゆかりの雛人形」

2011

- ・ 「まぼろしの三見・箕ノ越焼」
- ・ 「高島北海と長門峡」(没後 80 年記念)
- ・ 「昭和 38 年の山口国体」(山口国体開催記念)
- ・ 「発掘された山口」(埋蔵文化センター巡回移動展示)

2012

- ・ 「還暦元年・星の会のあゆみ」
- ・ 「山県有朋と萩 一萩の水景と庭園一」(没後 90 年記念)
- ・ 「幕末の先駆者・長井雅楽」(没後 150 年記念)
- ・ 「父さんがこどもだったころ～なつかしの昭和 50 年～」

2013

- ・ 「奇兵隊の群像」(結成 150 年)
- ・ 「なつかしの子ども茶碗」
- ・ 「桂太郎と萩」(没後 100 年記念)
- ・ 「宮本常一・島へのまなざし 一離島振興法 60 年から未来へ一」

2014

- ・ 吉田稔麿の生涯 (池田屋事変 150 年)
- ・ 久坂玄瑞の生涯 (禁門の変 150 年)
- ・ 大野毛利家の出土品 (萩博物館開館 10 周年)
- ・ 小萩人形の世界

2015

- ・ 世界遺産への誘い
- ・ ジオパークへの誘い
- ・ 大河ドラマトレイルを歩く
- ・ 「幕末の彗星出現！今年2013年も彗星の当り年！」

(以上 25テーマ開催)

#### 〈その他の展示〉

- ・ 「藩校明倫館と郷校育英館」（須佐歴史民俗資料館連携の展示協力、2011）
- ・ 「湖底のふるさと」（阿武川歴史民俗資料館連携の展示企画制作、2012）
- ・ 「永代家老益田家のお抱え絵師」（須佐歴史民俗資料館連携の展示協力、2012）
- ・ 「変わらない『まち』～「虹を織る」萩ロケから30年～」(文化生涯学習課依頼の展示企画制作、2012)
- ・ 「須佐歴史民俗資料館（本館）展示再開企画・制作」（被災須佐歴史民俗資料館の展示企画、2014）
- ・ 「浜崎の住吉祭り」（文化財保護課保存修理物件利活用の展示企画制作、2015）
- ・ 「須佐歴史民俗資料館（益田館）展示再開企画制作」（被災民俗資料の展示企画制作、2015）
- ・ 「花燃ゆ」（NHK大河ドラマ特別展・NHKプロモーション共同企画制作、2015）

(以上 8テーマ)

#### 〈展示図録〉

- ・ 『萩博物館展示案内』（2004）
- ・ 『毛利輝元と萩開府』（2004）
- ・ 『幕末長州藩の科学技術—大砲づくりに挑んだ男たち—』（2006）
- ・ 『晋作と竜馬—幕末に輝いた二つの青春—』（2006）
- ・ 『萩のまちは屋根のない博物館・萩博物館展示案内』（2006）
- ・ 『松下村塾開塾150年記念 吉田松陰と塾生たち』（2007）
- ・ 『明治維新の光と影』（2008）
- ・ 『伊藤博文とその時代』（2009）
- ・ 『没後100年記念誌 日本の鉄道之父 井上勝』（2010）
- ・ 『幕末明治の人物と風景—萩博物館所蔵古写真集成（1）—』（2011）
- ・ 『楫取素彦と幕末・明治の群像』（2012）
- ・ 『藤田美術館の名宝—大茶人・藤田伝三郎の夢—』（2012）
- ・ 『志士と元勳の書』（2012）
- ・ 『幕末明治の洋行者たち—萩博物館所蔵古写真集成（2）—』（2013）
- ・ 『山田顕義と近代日本』（2014）
- ・ 『吉田松陰の手紙—萩博物館所蔵杉家寄贈資料—』（2015）
- ・ 『明治日本の産業革命遺産と萩』（2015）

(以上 17冊刊行)

## 〈著述・寄稿〉

清水満幸

- ・ 「萩・再発見 ～宮本常一のまなざしを追う活動から～」(『日本人の暮らし 宮本常一写真図録第2集』、2009)
- ・ 『萩・北浦のクジラ文化』(萩ものがたり 30、2011)
- ・ 「長州・山口県の近代捕鯨」(『西日本文化』454号、2011)
- ・ 「NPOによる文化資源マネジメント～萩まちじゅう博物館～」(『季刊まちづくり』35号、2012)

堀成夫

- ・ 『萩沖の魚たち(春・夏編)』(萩ものがたり 10巻、2005)
- ・ 『萩沖の魚たち(秋・冬編)』(萩ものがたり 16巻、2007)

道迫真吾

- ・ 『萩の近代化産業遺産—世界遺産への道』(萩ものがたり、2009)
- ・ 『長州ファイブ物語—工業化に挑んだサムライたち—』(萩ものがたり、2010)
- ・ 『吉田年麻呂史料』(マツノ書店、2012、一坂太郎氏と共編)
- ・ 『楫取素彦 —「至誠」を体現した松陰の盟友—』(萩ものがたり 43、2014)

一坂太郎

- ・ 『高杉晋作100問100答』(萩ものがたり)
- ・ 『萩と日露戦争』(萩ものがたり)
- ・ 『萩の史碑』(萩ものがたり)
- ・ 『桂小五郎—写真集—』(萩ものがたり)
- ・ 『若き日の伊藤博文』(萩ものがたり)
- ・ 『吉田稔麿の生涯—池田屋事件で散った松陰門下の逸材—』(萩ものがたり)
- ・ 『奇兵隊士列伝(一)』(萩ものがたり)
- ・ 『奇兵隊士列伝(二)』(萩ものがたり)
- ・ 『高杉晋作と諫早生二』(萩ものがたり)
- ・ 『久坂玄瑞』(萩ものがたり)

樋口尚樹

- ・ 『日本の近代を拓いた萩の産業人脈 —企業家たちの情熱と朝鮮—』(萩ものがたり 33、2012)

(以上 21冊・編)

## 〈寄稿・情報発信〉

- ・ 地方新聞コラム連載 : 142回
- ・ 萩ネットワーク寄稿 : 多数
- ・ 文化団体(史都萩を愛する会、他)会報、市内町内会会報コラム等寄稿 : 多数
- ・ 萩博ブログ : 暮らしのやかた231回、歴史資料室57回、いきもの研究室368回、他

〈教育普及事業（含むワークショップ）〉

年度	事業開催回数	参加者数（総計）	備考
2004年度	9	343	館学連携支援授業を1回8人としてカウント
2005年度	60	1,857	
2006年度	59	2,023	
2007年度	48	2,223	
2008年度	85	3,167	
2009年度	42	2,199	
2010年度	15	1,970	夏期特別展団体プランを1回としてカウント
2011年度	16	1,047	夏期特別展団体プランを1回としてカウント
2012年度	20	1,704	夏期特別展団体プランを1回としてカウント
2013年度	21	3,886	夏期特別展団体プランを1回としてカウント
2014年度	20	817	夏期特別展団体プランを共催活動へ移行
<b>10年間総計</b>	<b>395回</b>	<b>21,236人</b>	

〈教育普及活動（天体観望）〉

年度	行事名	開催日時	参加者総数	
2004年度	開館記念特別観望	毎週金・土曜日	136	
〃	星の会	毎週金曜日	133	269（人）
2005年度	星の会	毎週金曜日	794	794（人）
2006年度	星の会	毎週金曜日	1,035	1,035（人）
2007年度	星の会	毎週金曜日	1,057	1,057（人）
2008年度	星の会	毎週金曜日	980	
〃	観望室公開	水～金、偶数土日	4,970	5,950（人）
2009年度	観望会（昼の部）	毎週土曜（7～3月）	2,047	
〃	観望会（夜の部）	〃	362	2,409（人）
2010年度	観望会（昼の部）	毎週土曜日	4,540	
〃	観望会（夜の部）	〃	603	5,143（人）
2011年度	観望会（昼の部）	毎週土曜日	4,125	
〃	観望会（夜の部）	〃	589	4,714（人）
2012年度	観望会（昼の部）	毎週金曜日	1,350	
〃	観望会（夜の部）	〃	576	1,926（人）
2013年度	観望会（昼の部）	毎週金曜日	1,324	
〃	観望会（夜の部）	〃	470	1,794（人）

2014年度	観望会（昼の部）	毎週金曜日	1,701	
〃	観望会（夜の部）	〃	375	2,076（人）
10年間総計				27,167（人）

〈市内小中学校の利用状況〉

年度	小学校	中学校	総合支援学校	合計
2005年度	22校	8校	1校	31校
	982人	138人	32人	1,152人
2006年度	19校	15校	1校	35校
	890人	500人	5人	1,395人
2007年度	34校	13校	1校	48校
	938人	307人	19人	1,264人
2008年度	22校	14校	2校	38校
	981人	346人	15人	1,342人
2009年度	21校	9校	1校	31校
	560人	127人	8人	695人
2010年度	21校	13校	2校	36校
	668人	205人	33人	906人
2011年度	13校	7校	2校	22校
	601人	48人	19人	668人
2012年度	10校	11校	3校	24校
	258人	155人	41人	454人
2013年度	21校	6校	0校	27校
	525人	93人	0人	618人
2014年度	24校	6校	2校	32校
	548人	30人	8人	586人
2015年度	23校	4校	1校	28校
	639人	133人	7人	779人

平成27年度は1月末日現在（数字は延べ数）

※ 総計 352校 9,859人 の小中学生が博物館内授業などで入館利用

※ 職場体験学習 3校（5校）

※ 上記の他に、2015年度においては、児童クラブ 15クラブ 561人 が入館利用

## 博物館入館者数

年 度	総入館者数	有料入館者数	無料入館者数
2004年度	72,793	66,129	6,664
2005年度	101,063	96,348	4,715
2006年度	88,400	83,257	5,143
2007年度	89,375	80,934	8,441
2008年度	99,657	91,265	8,392
2009年度	91,389	82,785	8,604
2010年度	129,249	118,669	10,580
2011年度	99,266	89,842	9,424
2012年度	121,129	108,043	13,086
2013年度	89,252	79,601	9,651
2014年度	<b>95,483</b>	83,395	12,088
2015年度	91,730	84,154	7,576
累 計	<b>1,168,786</b>	1,064,422	104,364

※ 総入

館者数は、平成16年度は5か月間。平成27年度は12月末現在

## 2. 調査研究活動

### 〈菘博物館研究報告書〉

1号 2005

- ・ 「天文教具の試作」(吉田恭一)
- ・ 「菘博物館の田中市郎氏寄贈生物標本目録Ⅰ(魚類)」(堀成夫)
- ・ 「菘藩主毛利家一門大野毛利家の上屋敷の変遷について」(樋口尚樹)
- ・ 「田中宗昭氏寄贈資料における須佐益田家お抱え絵師・長富家に関する資料紹介」(上利英之)

2号 2006



- ・ 「惑星儀の製作」(吉田)
  - ・ 「萩市のカミキリムシ目録」(椋木博昭)
  - ・ 「徳島県藍商の山口県関連取引資料」(清水満幸)
  - ・ 「山根正次関係資料目録(一)」(道迫真吾)
  - ・ 「史料紹介 坪井信友の青木周弼宛て書簡」(二宮睦雄・秋葉實・道迫)
- 3号 2007
- ・ 「萩博物館開館3年間の総括と課題」(樋口)
  - ・ 「萩博物館寄託『杉家文書』」(井上聡・村井祐樹)
- 4号 2008
- ・ 「萩市における晴天率」(山根弘也・吉田恭一)
  - ・ 「萩市のカミキリムシ目録Ⅱ」(椋木)
  - ・ 「萩城跡指月山の植生の変遷について」(樋口)
- 5号 2009
- ・ 「萩博物館所蔵の田中市郎コレクション(Ⅰ) 魚類標本(2)」(堀)
  - ・ 「萩住吉祭りの夜店 ～地方新聞の記事より～」(清水)
  - ・ 「萩反射炉関連史料の調査報告(第一報)」(道迫)
  - ・ 「越後に存在する松陰史料」(一坂太郎)
- 6号 2010
- ・ 「萩市周辺のアリモドキ科」(椋木)
  - ・ 「萩・住吉祭りの夜見世、その2」(清水)
  - ・ 「萩博物館所蔵榎崎頼三関係資料」(道迫)
  - ・ 「幕末維新遺墨帳覚書き」(一坂)
- 7号 2011
- ・ 「萩反射炉関連史料の調査研究報告(第二報)」(道迫)
  - ・ 「吉田稔麿のこと」(一坂)
- 8号 2012
- ・ 「萩博物館所蔵ナガスクジラ科鯨類頭骨標本の種同定」(中村玄・堀・加藤秀弘)
  - ・ 「萩地域の櫓から見えてくるもの」(清水)
  - ・ 「龍馬の「八策」の「前文」に関する一考察」(一坂)
- 9号 2013
- ・ 「2013年7月28日の大雨後の長磯(萩市須佐)の海底状況」(堀・稲村嘉彦)
  - ・ 「萩市のテントウムシ科昆虫(節足動物門 昆虫綱 甲虫目)」(椋木)
  - ・ 「萩地域と日本の水産業近代化について～明治期の博覧会記録より(Ⅰ)」(清水)
- 10号 2014
- ・ 「山口県日本海域の危険生物目録(Ⅰ): 外傷およびそれに附随する症候をもたらすもの」(堀・土井啓行・園山貴之・荻本啓介・國森拓也・河野光久)

## 〈論文・研究ノート・報告〉

清水満幸

- ・ 「写真資料の可能性～地域と民俗の継承に向けて～」(『民具研究』146号、2012)
- ・ 「徳島県藍商の山口県関連取引資料」(『萩博物館研究報告』2号、2007)
- ・ 「萩・住吉祭りの夜見世」(『萩博物館調査研究報告』5号、2009)
- ・ 「萩・住吉祭りの夜見世、その2～地方新聞の記事より～」(『萩博物館調査研究報告』6号、2010)
- ・ 「萩地域の櫓から見えてくるもの」(『萩博物館調査研究報告』8号、2012)
- ・ 「萩地域と日本の漁業近代化について～明治期博覧会の記録より～」(『萩博物館研究報告 第9号』、2014)

道迫真吾

- ・ 「幕末長州藩における大砲鑄造技術に関する研究」(文部科学省特定領域研究「江戸のモノづくり」第8回国際シンポジウム実行委員会編『近世科学技術のDNAと現代ハイテクにおける我が国科学技術のアイデンティティの確立』、2007)
- ・ 「楢取素彦の教育観についての一考察—文久二年の上書「学制議草稿」を中心に—」(『山口県地方史研究』99号、2008)
- ・ 「幕末における楢取素彦の教育事歴—藩校明倫館・三田尻越氏塾・松下村塾とのかかわり—」(楢取素彦没後百年顕彰会編『男爵楢取素彦の生涯』公益財団法人毛利報公会、2012)
- ・ 「博物館歴史展示の難しさ—萩博物館常設展示の幕末期船舶比較図について—」(『山口県地方史研究』第93号、2005)
- ・ 「山根正次関係資料目録(一)」(『萩博物館研究報告』2号、2007)
- ・ 「坪井信友の青木周弼宛書簡」(『萩博物館研究報告』2号、2007、二宮陸男氏・秋葉實氏との共著)
- ・ 「英国から里帰りした「長州砲」についての新情報」(幕末長州科学技術史研究会編・発行『長州の科学技術』3号、2008)
- ・ 「萩反射炉関連史料の調査報告(第一報)」(『萩博物館調査研究報告』5号、2010年)
- ・ 「米国に現存する「長州砲」の調査報告—新しく発見した刻銘を中心に—」(『長州の科学技術』4号、2011)
- ・ 「萩博物館所蔵井上勝書簡—手紙に見る井上勝と杉民治の交流関係—」(『長州の科学技術』4号、2011)
- ・ 「萩博物館所蔵榑崎頼三関係資料」(『萩博物館調査研究報告』6号、2011年)
- ・ 「萩反射炉関連史料の調査研究報告(第二報)」(『萩博物館調査研究報告』7号、2012年)
- ・ 「萩反射炉再考」(『日本歴史』793号、2014年)
- ・ 「萩博物館における日本大学「学祖」山田顕義の特別展—地域博物館と私立大学との「協同展示」の一事例—」(『MUSEOLOGIST 明治大学学芸員養成課程年報』30号、2015年)

堀成夫

- ・ 「山口県の日本海沿岸域における海洋生物に関する特記的現象」(山口県水産研究センター研究報告4号、2006年)(河野光久・土井啓行と共著)

- ・ 「山口県北部地方からの新記録種の報告」(日本貝類学会研究連絡誌『ちりぼたん』37巻4号、2007年)
- ・ 「Ecological study of *Hypermastus tokunagai* (Gastropoda: Eulimidae), parasitic on the sand dollar *Scaphechinus mirabilis* (Echinoidea: Irregularia)」(Venus, Japanese Journal of Malacology, 66(3-4), 2008年)(松田春菜・浜野龍夫・山元憲一と共著)
- ・ 「日本海産魚類目録」(山口県水産研究センター研究報告9号、2012)(河野光久・土井啓行と共著)
- ・ 「山口県日本海産魚類目録」(山口県水産研究センター研究報告9号、2012年)(河野光久・土井啓行と共著)
- ・ 「2005～2009年の山口県日本海域における海洋生物に関する特記的現象」(山口県水産研究センター研究報告9号、2012年)(河野光久・土井啓行と共著)
- ・ 「山口県日本海域の頭足類相(予報)」(山口県水産研究センター研究報告10号、2013年)(河野光久・土井啓行と共著)
- ・ 「萩博物館所蔵の田中市郎氏寄贈生物標本目録(I):魚類」(萩博物館研究報告1号、2006)
- ・ 「萩博物館所蔵の田中市郎氏寄贈生物標本目録(II):魚類」(萩博物館研究報告5号、2010)

#### 一坂太郎

- ・ 「越後に存在する松陰史料」(『萩博物館研究報告』5号、2009)
- ・ 「幕末維新遺墨帳覚書き」(『萩博物館研究報告』6号、2010)
- ・ 「吉田稔麿のこと」(『萩博物館研究報告』7号、2011)
- ・ 「龍馬の「八策」の「前文」に関する一考察」(『萩博物館研究報告』8号、2012)

#### 椋木博昭

- ・ 「萩市のカミキリムシ目録」(『萩博物館研究報告』2号、2006)
- ・ 「萩市のカミキリムシ目録Ⅱ」(『萩博物館研究報告』4号、2008)
- ・ 「萩市周辺のアリモドキ科」(『萩博物館研究報告』6号、2010)
- ・ 「萩市のテントウムシ科昆虫(節足動物門 昆虫綱 甲虫目)」(『萩博物館研究報告』9号、2013)
- ・

(以上 36編)

#### 〈研究発表(学会発表)〉

#### 清水満幸

- ・ 「瀬戸内海・響灘・日本海～民俗の差異と変遷～」(日本民俗学会第55回年会発表、2004)
- ・ 「山口県の櫓」(日本和船研究会発表、2006)
- ・ 「地域博物館の民俗継承へのかかわり」(日本民俗学会第60回年会発表、2008)
- ・ 「写真資料の可能性 ～ 地域と民俗の継承に向けて ～」(日本民具学会第36回大会発表、2011)

#### 道迫真吾

- ・ 「楫取素彦の教育観について―幕末期の学制に関する意見書を素材に一」（「明治期理科教科書と群馬県女子師範学校収集資料」研究会、2003年）
- ・ 山口県内における地方史研究団体の活動「幕末長州科学技術史研究会」（山口県地方史学会創立50周年記念大会―山口県地方史研究の過去・現在・未来―、2003年）
- ・ 「荻生徂徠著「郡司火技序」の成立背景について」（第103回山口県地方史研究大会、2006年）
- ・ 「文久元年における入江九一の尊攘活動―「天狗党視察記」を題材に一」（第108回山口県地方史研究大会、2008年）
- ・ 「萩反射炉関連史料の調査研究―補強された試験炉説―」（第115回山口県地方史研究大会、2012年）

#### 堀成夫

- ・ 「近年に山口県北部地方で採集された注目すべき熱帯太平洋系貝類」（日本貝類学会平成17年度大会、2005）
- ・ 「山口県北部・島根県西部における注目すべき熱帯性貝類―2005年の出現状況」（日本貝類学会平成18年度大会、2006）
- ・ 「山口県北部における注目すべき熱帯性貝類―2006年以降の出現状況」（日本貝類学会創立80周年記念大会、2008）
- ・ 「Arthur Adams は145年前、日本海見島沖のどこで多数の貝類を発見したか?」（日本貝類学会平成16年度大会、2004）
- ・ 「山口県北部における熱帯性貝類の出現状況 ―2009年時点の知見」（日本貝類学会平成21年度大会、2009）
- ・ 「ウツブシタダミとギボシノツブはトウガタガイ科?」（日本貝類学会平成23年度大会、2011）
- ・ 「山口県の日本海における特記的現象～甲殻類を中心に」（第10回日本海甲殻類研究会、2011）（土井啓行、河野光久、石橋敏章と共同）
- ・ 「山口県の日本海沿岸における熱帯性貝類の出現状況―2013年時点の知見」（日本貝類学会平成25年度大会、2013）

**（以上 12発表）**

### 3. 収集保管活動

年度	寄贈件数	寄贈点数	寄託件数	寄託点数	年度毎件数 (点数) 合計	備考
2003年度	10	206	4	464	14 (670)	
2004年度	13	59	7	251	20 (310)	
2005年度	14	72	15	436	29 (508)	
2006年度	17	296	4	271	21 (567)	
2007年度	12	67	4	36	16 (103)	
2008年度	17	157	9	160	26 (317)	移管1件(田万川 総合事務所)
2009年度	14	172	9	23	23 (195)	
2010年度	18	225	9	70	27 (295)	
2011年度	15	50	1	1	16 (51)	
2012年度	21	883	5	268	26 (1151)	
2013年度	12	26	4	70	16 (96)	移管2件 (財産管理課)
2014年度	6	27	8	55	14 (82)	
<b>総計</b>	169	2240	79	2105	<b>248件 (4345点)</b>	

※ 小川コレクション(約4000点)、阿部家資料(約1500点)は点検調査未了につき未計上

※ 上記受入れ資料の点検についても、かなりの部分が未了